事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月23日更新

事務事業名	環境美化活動事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩
	施策	18	住環境の充実			所属課	環境衛生課	担当者名	寺本 健志
	施策の柱	56	環境衛生の充実			所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10116	根拠法令	合志市美しいまちづくり条例		
終了、開始年度	☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成14年度より熊本県主催イベント『くまもとみんなの川と海づくりデー』が実施されており、県下一斉でボランティアや職員等により河川清掃などを行っている。当課では、市ホームページへの掲載や関係各所への通知送付によるボランティアの募集、現地確認、清掃活動により生じた廃棄物処分等業務を行う。 平成19年度より燃やすごみの減量化の取り組みとして、区・自治会等掃活動で発生した枝草類を日野総合管理株式会社に搬入を開始した。このことに伴い、区・自治会等掃活動受付事務及び、清掃活動で発生した枝草類の処分費支払い事務を行う。
【業務の流れ】	各区の清掃活動実施日の把握・実施後の処理、職員等による清掃活動の計画・実施
【主な予算費目】	需用費、役務費、委託料、備品購入費
【意見や要望】	区・自治会清掃活動で集められた枝草以外の燃やすごみや資源物・不燃ごみについても、枝草収集時に合わせて収集してもらえないかという要望がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	各地区のボランティア作業による公園・道路の清掃活動及びPTAによる愛校作業で出た枝草約86,400kgの処理を行った。令和5年8月5日に、くまもとみんなの川と海づくりデーに伴う河川清掃を実施した。	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 各地区の清掃活動によって発生する枝・草等の処分費の支払う。また、熊本県下一斉清掃日に合わせボランティアや職員等により河川清掃などを行う(上生川・塩湊川) 令和6年度より「10116環境美化活動事業(統合親・名称変更)」「10189環境美化推進員活動事業」「11771廃棄物撤去事業」を「10116環境美化関係事業」に統合予定である。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由 ア: 清掃活動を行った行政区 イ: 河川清掃に参加した人数	地区: 10116環境美化活動事業・10189環境美化推進員活動事業・11771廃棄物撤去事業を10116環境美化関係事業へ統合することに伴う増 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 河川、公園等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位) ア: 公園の数 箇所 イ: 河川の数 本
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 河川、公園等の草・枝等を適切に処分する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位) ア: 処理委託した量 kg イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 燃やすごみの減量化の取り組みとして、地域の美化活動等で発生した枝草類を委託事業所へ搬入しているため、成果指標を「処理委託した量」とし、目標値は各区の清掃活動等による枝草類の処理については毎年発生するので例年の目標と同じ「120,000kg」と設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア 地区		84	36	84	34	84	84	84	84	
	イ 人		0	0	300	310	300	300	300	300	
	ア 箇所		200	220	220	230	220	220	220	220	
② 対象指標	イ 本		2	2	2	2	2	2	2	2	
	ア kg		53,140	76,400	120,000	86,400	120,000	120,000	120,000	120,000	
③ 成果指標	イ										
	イ										
	イ										
	イ										
	イ										
	イ										
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1,175	1,738	2,587	1,948	7,370	7,431	7,511	7,491
		(A) 事業費計	千円	1,175	1,738	2,587	1,948	7,370	7,431	7,511	7,491
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	7	7	14	14	14	14
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	470	370	450	460	850	850	850	850	
	(B) 人件費計	千円	1,837	1,408	1,792	1,675	3,386	3,386	3,386	3,386	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,012	3,146	4,379	3,623	10,756	10,817	10,897	10,877	

事務事業名	環境美化活動事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動自粛が緩和されたことにより、自治会での清掃活動の開催件数増加が見込まれる。区長会や環境美化推進員会議を通じて、本事業の周知を図ることにより目標達成の見込みがある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 区長会や環境美化推進員会議、その他会議等を通じて、本事業を周知することにより活動の活発化を図り、更なる成果は期待できる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度より「10116環境美化活動事業(統合親・名称変更)」「10189環境美化推進員活動事業」「11771廃棄物撤去事業」を「10116環境美化関係事業」に統合予定である。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 宅地造成に伴い公園の増加がみられ、清掃活動場所が増加しているため事業費の削減余地なし。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 自治会清掃活動の受付は、環境衛生課が窓口となったことから業務時間は微増したが、枝草類の処理については、関係課と連携を図ることで削減可能。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公共用地のみを対象としているので公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 自治会清掃活動の実施、その受付関係を市が行っており役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

河川清掃を4年ぶりに開催し、職員をはじめ企業や市民の参加計310名に参加いただいた。次年度も引き続き職員をはじめ企業や市民の参加を募る。
自治会清掃では現在、公園以外のボランティア活動で排出されたごみを自治会主体で分別・ゴミステーションへの搬出をお願いしている。そのため、このようなごみも枝草とまとめて市に処分してもらいたいとの要望が挙げられている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p>☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善(有効性改善) ☐事業のやり方改善(効率性改善) ☐事業のやり方改善(公平性改善) ☐現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>令和6年度より「10116環境美化活動事業(統合親・名称変更)」「10189環境美化推進員活動事業」「11771廃棄物撤去事業」を「10116環境美化関係事業」に統合予定である。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						